

高齢者歯科学分野 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工医療科学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

全部床義歯の視点から再考 する部分床義歯の臨床

講師 鈴木 哲也 先生
東京科学大学
歯学部附属病院 特任教授



日時：2026年1月19日(月) 17:30-19:00
場所：D棟4階 歯学部特別講堂

全部床義歯と部分床義歯は一括して有床義歯として扱われるが、臨床で重視すべきポイントには両者に明確な相違が存在する。例えば、全部床義歯では頸堤に「支持」と「維持」を求めるため、床外形の設定が極めて重要で、印象採得には最善の注意を払う必要がある。一方、部分床義歯では「支持」、「維持」を支台歯および支台装置も担うため、頸堤の役割は相対的に低下し、床外形は必ずしも広範である必要はない。また、全部床義歯では天然歯が元あった位置に排列するという生理学的な考え方を重視するが、部分床義歯では支台歯保護のために側方力を抑制するという力学的な考え方が優先される。そのため遊離端義歯に付与する咬合接触は、全部床義歯とは異なる。一方で、全部床義歯の概形印象で用いるテクニックが、部分床義歯にも応用可能な場面もある。

本セミナーでは、臨床に直結する実践的なTipsを提示し、全部床義歯と対比することで、部分床義歯への理解を深めたい。

担当：角南明歩 a.sunami.gerd@tdm.ac.jp
高齢者歯科学分野 (内線5586)